

科学技術を生かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会（第24期・第1回）

議事録

1. 日時 平成29年11月2日(木)13:00-15:00

2. 会場 東京大学工学部一号館セミナーA（4階406）

3. 議題 1) 役員選出
2) レジリエンスフォーラムの準備とまとめ方
3) IAP防災・減災声明について
4) その他

4. 配布資料

資料 01-01 設置要綱
資料 01-02 委員名簿
資料 01-03 24期活動レビュー
資料 01-04a 会議コンセプト
資料 01-04b 会議の構造とアジェンダ
資料 01-05a 招聘状
資料 01-05b 会議の趣旨とプログラム案（日本語）
資料 01-05c 招聘者リスト
資料 01-05d 登録者リスト
資料 01-06a ハイレベルパネル出席者
資料 01-06b ハイレベルパネル招聘状
資料 01-07a 共同議長リスト
資料 01-07b 共同議長からの登壇者推薦
資料 01-07c 登壇者推薦リスト
資料 01-08 IAP 声明原稿

5. 出席者 17名（敬称略、名簿順）

小池俊雄、春山成子、米田雅子、渡辺美代子、大西隆、春日文子、小松利光、塚原健一、南裕子、天野雄介、池内幸司、田村圭子、内藤一郎、西川智、山内邦裕、ラジブショウ、川崎昭如

陪席者 3名（敬称略、順不同）

石尾航輝、山田智之（日本学術会議事務局）、池田鉄哉（ICHARM）

1) 役員選出

- ・ 合議の結果、小池委員が本検討委員会の委員長として選出された。
- ・ 小池委員長の指名により、以下の副委員長、幹事が選出された。
 - 副委員長：林委員
 - 幹 事：佐竹委員、塚原委員
- ・ 小池委員長「これまで6年以上委員長を務めたため、来年度は新しい体制での進行をお願いしたい。また、IRDR 分科会の委員長も2期務めているため、3期目以降は新たな方をお願いしたい。」
 - IRDR 分科会は10/30の日本学術会議の幹事会で設置が承認され、第1回目開催の準備中。
- ・ 小池委員長より本委員会の設置要綱と23期の活動概要の説明（資料01-01、資料01-03）。

2) レジリエンスフォーラムの準備とまとめ方

<レジリエンスフォーラムのコンセプト（資料01-04a）>

- ・ 仙台防災枠組やジュネーブでの科学技術会議、国連でのターゲットの指標開発や専門用語定義などを踏まえ、各国・地域のステイクホルダーが集まり実質的な議論をすることにより、科学技術を用いた防災・減災の強化を目的とするガイドラインづくりと、シンセシスレポートの作成を開始することの合意形成を本フォーラムの目的とする。

<レジリエンスフォーラムのアジェンダ（資料01-04b）>

- ・ （特徴1）ハイレベルパネルを最終日11/25に設定した。
- ・ （特徴2）セッションがプレナリー、ワーキング、ランチセッションの3構造に分かれている。
 - 計7つのプレナリー（仙台防災枠組の優先行動に対応する4つと、Interdisciplinary, National platform, Synthesisのクロスカッティング課題3つ）。
 - 2日目のワーキングセッション1,2での議論を3日目のワーキングセッション3でまとめる。
 - プレナリーセッション8で会議全体の内容をまとめる。
 - ワーキングランチを毎昼に開催。2日目はポスター展示のみ。
- ・ （特徴3）会議参加者全員に役割がある。
 - テーマごとに、各セッションの議論内容を事前に準備する。
 - プレナリー、ワーキングセッションは各共同議長、オープニング、プレナリー8、ハイレベルは小池委員長がマネジメントする。
 - オープニング、プレナリー8、ハイレベルの司会の適任者を選出する。
 - プレナリー8では、各共同議長の代表1人と、小池委員長が運営として登壇する。
- ・ IAP statementの15分間は春山委員にマネジメントをお願いする。

<招聘・主催機関関係（資料01-05a、05b）>

- ・ 招聘状は発出時の共催機関（日本学術会議、UNISDR、IRDR、ICS）の代表者が署名し発出。
 - ICHARMとNIEDで招聘関係を支援。予算支援や運営に関わるため両機関は共催として参加。
 - 主催機関280名に対し招聘状を発出し、142名が参加登録（資料01-05d）。

- ・ UNISDR、NIED、ICHARM、GADRI から招聘者の旅費を支援。
- ・ 世界防災フォーラムや Future Earth の KAN ワークショップ参加者にもご参加いただく。
 - KAN ワークショップ参加者（資料 01-05d の 401～414）の氏名を表記する。
 - ✓ 自費参加 5 名の情報も追記する（旅費支援対象者と自費参加者で合計 19 名）。
- ・ WB と ADB からのハイレベルパネル参加はなし（資料 01-06a）。

<Working Lunchセッション>

- ・ ラジブ委員、西口委員、小池委員長で 2 回の電話会議を実施。
- ・ 【パネル】 1 日目は事業支援で西口委員、3 日目は実行がテーマでラジブショウ委員が担当。
 - 1 日目：災害データアーカイブに関して、東北大学、UNDP、富士通でパネルを実施。
 - 3 日目：Global、Regional、National、Local のマルチスケールに関して、APEC、ADPC、フィリピン、東京イノベーションハブの 4 名でパネルを実施。
 - ✓ 7 つのポスターのアブストラクトが集まっている。
- ・ 【ポスター】 25 件程度を掲示。10 件は National Platform 関係、15 件の半数を民間から学術、残り半数を学術から民間に対して協力できる分野のニーズを示す内容とする。
 - ICS の総会時に発表した Future Earth のポスターを再掲する。
 - 1 日目：日本防災プラットフォーム、民間からのポスターを 7-8 件いただく。
 - 2 日目：National Platform のポスター発表を 7-8 件いただく。
 - ✓ カリブ海地域とラテンアメリカから提出される予定。
 - 3 日目：アカデミアからもポスター発表をいただく。
 - ✓ 豊橋技術科学大学の安全安心地域共創リサーチセンター（CARM）に打診（大西委員）。
 - ✓ 東京大学（社会連携講座）、防災科研、三重大学、名古屋大学、内閣府へ依頼。
 - ✓ センチネル・アジア（JAXA）のポスターを発表する。
- ・ ポスター発表者にはフォーラム参加登録のアドレスを送り、ご登録いただく。
- ・ ポスター会場での飲食は日本学術会議の利用制約上不可。
- ・ ポスターは各自が印刷し、11/23 朝に掲示する。
- ・ ポスターのフォーマットを決定し、関係者に連絡する（小池委員長）。

<共同議長による登壇者の推薦（資料 01-07a, 07b, 07c）>

- ・ 共同主催者の UNISDR、ICSU/IRDR、日本学術会議それぞれから共同議長を推薦した（資料 01-07a）。
- ・ 共同議長テレコンを 2 回開催して議論したが、会議の進め方を十分理解できていない議長も多い。
 - Co-char の 3 つの役割を共同議長に周知した。
 - ✓ 全員参加型の会議を設計する。
 - ✓ 共同議長がパネリストとディスカッションを選ぶ（現在作業中）。
 - ✓ Policy brief のドラフトを事前に議論する。

<登壇者の選出>

- ・ 7 つのプレナリーに各 3 人の共同議長、15 のセッション（4 つのワーキングセッションが各 2 回＋7 つのプレナリー）に各 5 人のパネリストと 3 人のディスカッションで、計 141 名が参加。
- ・ 7 つのプレナリーで登壇するのは共同議長の 3 人と 5 人のパネリスト。
- ・ 3 つのクロスカッティングはプレナリーのみで、4 つのワーキンググループセッション時は、共同

議長、パネリスト、ディスカッサンは、WG1～4のいずれかに参加する。

- ・ 共同議長から推薦のあった登壇者（資料 01-07b）を、登録者リストと整合（資料 01-07c）。（資料 01-07c の見方）
 - 1P: プレナリー 1
 - 1W1: ワーキンググループ 1 のワーキングセッション 1
 - 1W2: ワーキンググループ 1 のワーキングセッション 2
 - 5P、6P、7P: 各クロスカッティングのプレナリー。パネルのみ。
 - 1-4: 登録者が 1～4 で希望する 2 つのセッション。希望の優先順位はなし。
 - 5-7: 登録者が希望するクロスカッティングセッション。
 - P、D: 共同議長が選んだパネリストとディスカッサン。
 - 赤色の塗りつぶし: 決定した選出。リスト下部の統計に反映される。
 - 黄色の塗りつぶし: どのセッションからも選出されていない登録者。
- ・ 黄色の登録者から登壇者を選んでもらうよう第 2 次選考依頼を共同議長に連絡済。
 - セッション 1、2、5、6 が多く、7 が少ない。
 - IAP 声明の議論でもサポーターティブな意見をくれた Raymond John Durrheim 氏、Jose Antonio Marengo 氏をパネリストかディスカッサンに選出してはどうか。
- ・ 日本の共同議長はワーキンググループでの選出を積極的に調整する。
- ・ **KAN のワークショップ参加関係者から登壇対象者を選出する（春日委員、小池委員長）。**
- ・ 共同議長が赤で示された登録者の登壇を了承した段階で該当者に役割を随時通達。その後、共同議長から正式に該当者に連絡する。

<登壇者選出の方法>

- ・ 登録者の参加希望セッションを無視した異なるセッションへの選出は行わない。
- ・ 黄色で示した登録者から登壇者を選出する。
 - 足りない場合は、登録者の参加希望を考慮しながら他のセッションから選出する。
- ・ 共同議長は推薦するのみで、登壇の調整をする必要はない。
- ・ 選出作業は共同議長各自でも、他 2 名の共同議長と行っても良い。
- ・ パネリストとディスカッサンでは、パネリストを優先する。
- ・ パネリストに同じ国の人は 2 名まで。可能な限り多様になるようバランスを調整する。
- ・ パネリストには最低 1 名の女性を必ず入れる。
- ・ プレナリーとワーキンググループではプレナリーを優先する。
- ・ 同じ登録者にセッションや役割が重複した場合、人数が足りていない所を優先する。
- ・ 共同議長はパネリストやディスカッサンへは選出しない。
- ・ パネリストやディスカッサンに該当しない登録者がいる場合、小池委員長が送信した共同議長へのメールにフォローアップする形で、情報提供を行う。
- ・ 資料 01-07c に P や D などの役割を加筆し、小池委員長に送付する。可能な限り多く推薦する。

<レジリエンスフォーラムへの参加者募集>

- ・ フォーラムは 200 名の参加規模で設計しているため、登壇者以外でも 50 名程度の余地がある。
 - 200 名を上限に先着順で決定する。
 - パネリストやディスカッサンとして登壇を推薦する場合は小池委員長に連絡する。

- ・ 防災学術連携体に対して小池委員長と寶委員で声がけした結果、4名の参加表明があった。
 - フォーラムを十分に理解できるような内容を提示できていなかった。
- ・ 会議内容を理解している本委員会委員が、大学院生以上を対象に声掛けして多様な参加を募る。
 - メーリングリストで流すのではなく、個別で各人に声掛けする。
- ・ 参加希望者は「聴講希望者連絡票」（議事録と併せて送付）に記載して、ご登録いただく。
 - フォーラム参加登録者名簿を11/10までに確定する。

<Policy brief・声明（資料 01-08）>

- ・ 小池委員長がドラフトした内容を本委員会で議論し、UNISDR、ICSU、IRDR、日本学術会議で内容を詰めた。共同議長やハイレベルパネルの登壇者に可能な限り事前に確認してもらう。
- ・ 防災学術連携体の委員からは10月末までにコメントがなかったため、日本案は現行版で進める。
- ・ 20ページ程度のPolicy Briefに、1～1.5ページ程度の声明を作成する。
 - 骨子は、ガイドラインの作成とシンセシスレポートの定期発刊を、アカデミア、国の行政、国際機関、開発銀行、ドナー機関等が支援するという形。
- ・ Policy briefについての共同議長間の議論を日本の共同議長がリードして進める。
 - 議論の日程をICHARMの宮本研究員に連絡してWebExをセットする。

<その他>

- ・ 11/13までに関係資料をファイナライズ。
- ・ フォーラムでの議論を論文としてまとめてJDRから特集号を出す。
 - 小池委員長から共同議長に連絡する。
- ・ フォーラムに関する各種日程が遅れているため、委員の協力をお願いしたい。
- ・ 次回のタスクフォースのミーティングは11/5で、Policy Briefと声明の内容を詰める。

3) IAP防災・減災声明について

- ・ 日本、IAPの13か国、IAP本部で調整した最終版が資料01-08。
- ・ 日本学術会議から9月中旬にIAP本部にドラフトを送り、イタリアから10月初旬に要望があった内容を反映した改訂版をIAP本部に再送した。

4) その他

<次回の委員会>

- ・ 12月下旬開催予定。日本学術会議としてフォーラムの報告書を取りまとめる。

【IAP 声明および災害レジリエンス・フォーラムの開催に関する決定事項とスケジュール】

表 IAP 声明に関する決定事項とスケジュール

#	会議	内容	状況
1	第 01 回	日本案は現行版を最終として進める。	

表 災害レジリエンス・フォーラムの開催に関する決定事項とスケジュール

#	会議	内容	状況
1	第 01 回	フォーラム参加登録者名簿を 11/10 までに確定する。	未
2	第 01 回	オープニング、プレナリー8、ハイレベルの司会の適任者を選出する。	未
3	第 01 回	次回のタスクフォースミーティング (11/5) で、Policy Brief と声明内容を詰める。	未
4	第 01 回	成果を科学技術の国際展開の視点から JDR の特集号として投稿する。	未
5			
6			